

申請書(記入例)

- ◆被共済者が10名以上いる場合は、申請書裏面を使用してください。
- ◆記載誤りは、修正液等は使用せず、二重線を引いた上で訂正印を押印し、正しい文言に修正してください。

第1号様式(第6条関係)

中小企業退職金共済制度奨励補助金交付申請書

伊勢原市長 殿

住所 伊勢原市〇〇××
名称 〇〇〇株式会社
代表者氏名 代表取締役 甲野 乙太郎

伊勢原市中小企業退職金共済制度奨励補助金交付規則第6条の規定により、次のとおり補助金の交付を受けたいので申請いたします。

なお、同規則第5条の規定による市税完納要件の確認のため、納税状況の調査に同意します。

補助金交付申請額 18,200 円

共済契約者記号番号 85-04321 被共済者数 5 名

補助金交付申請額の内訳

番号	被共済者記号番号	被共済者氏名	掛金状況			補助金額	※照合
			期間	月数	掛金月額		
1	001	甲野 丁子	1~12	12	3,000	3,600	
2	002	乙川 丙太	1~12	12	10,000	6,000	
3	003	丙山 乙次	1~6 7~12	6 6	4,000 8,000	2,400 2,000	
4	004	丁木 甲助	5~12	8	4,000	3,200	

注 (1) 申請のとき共済加入を証する書類を提示してください。

☐ 捺印を押印

☐ 日付は記入不要

☐ 名称に、(有)や(株)等の略称は使用しない

使用できる印は、
① 事業所代表者印
② 事業所名印+代表者名印
③ 代表者名印(個人の場合)

☐ 補助金額の合計を記入

☐ 退職金共済手帳の「共済契約者番号」を記入

☐ 被共済者の合計人数を記入

☐ 退職金共済手帳の「被共済者番号」を記入

【掛金状況について】
掛金月額の変更があった場合は
期間・月数・掛金月額を2行で記入
(例: 丙山乙次欄)

【掛金月額について】
割引制度分を差し引いた
(実際に支払った)金額を記入

【補助金額の計算について】

補助金額=月数×(補助単価×1/10)

◆ 掛金月額 5,000 円未満 ➡ 補助単価=掛金月額

◆ 掛金月額 5,000 円以上 ➡ 補助単価=一律 5,000 円(上限)

【計算例】

- 1 甲野丁子 (一般的な申請) $12 \text{ か月} \times (3,000 \text{ 円} \times 1/10) = 3,600 \text{ 円}$
- 2 乙川丙太 (掛金月額が 5,000 円以上の場合) $12 \text{ か月} \times (5,000 \text{ 円} \times 1/10) = 6,000 \text{ 円}$
- 3 丙山乙次 (掛金月額を途中変更した場合) $6 \text{ か月} \times (4,000 \text{ 円} \times 1/10) = 2,400 \text{ 円}$
 $6 \text{ か月} \times (5,000 \text{ 円} \times 1/10) = 3,000 \text{ 円} \Rightarrow 5,400 \text{ 円}$
- 4 丁木甲助 (年の途中で加入した場合) $8 \text{ か月} \times (4,000 \text{ 円} \times 1/10) = 3,200 \text{ 円}$

※年の途中で退職した場合も、途中加入の場合と同様に、年内に支払った掛金を記載してください

請求書(記入例)

◆日付・請求金額の記入は不要です。

◆記載誤りは、修正液等は使用せず、二重線を引いた上で訂正印を押印し、正しい文言に修正してください。

第3号様式(第7条関係)		☐ 捨印(代表者印)を押印	
中小企業退職金共済制度奨励補助金請求書		☐ 日付は記入不要	
伊勢原市長 殿		記入不要日	
住所	伊勢原市〇〇××		
名称	〇〇〇株式会社		
代表者氏名	代表取締役 甲野 乙太郎	☐ 印	
交付決定のありました中小企業退職金共済制度奨励補助金の交付を受けたいので、次のとおり請求します。			
請求金額	記入不要	☐ 申請書と同様に記入・押印	
		☐ 請求者名義のものを記入	
振込先	金融機関名 〇〇銀行 支店等 ×××支店		
口座番号	普通 当座 1234567		
口座名義人	〇〇〇(株) デイカリアリヤ コノ カノ (カタカナで記入)		
添付資料	記入不要 添付不要		
☐ 中小企業退職金共済制度奨励補助金交付決定通知書の写し			

その他、御不明点等ございましたら、担当(☎0463-94-4732)までお問合せください。